

平成 28 年度地中熱利用状況調査の集計結果

(1) 地中熱利用全体の普及状況

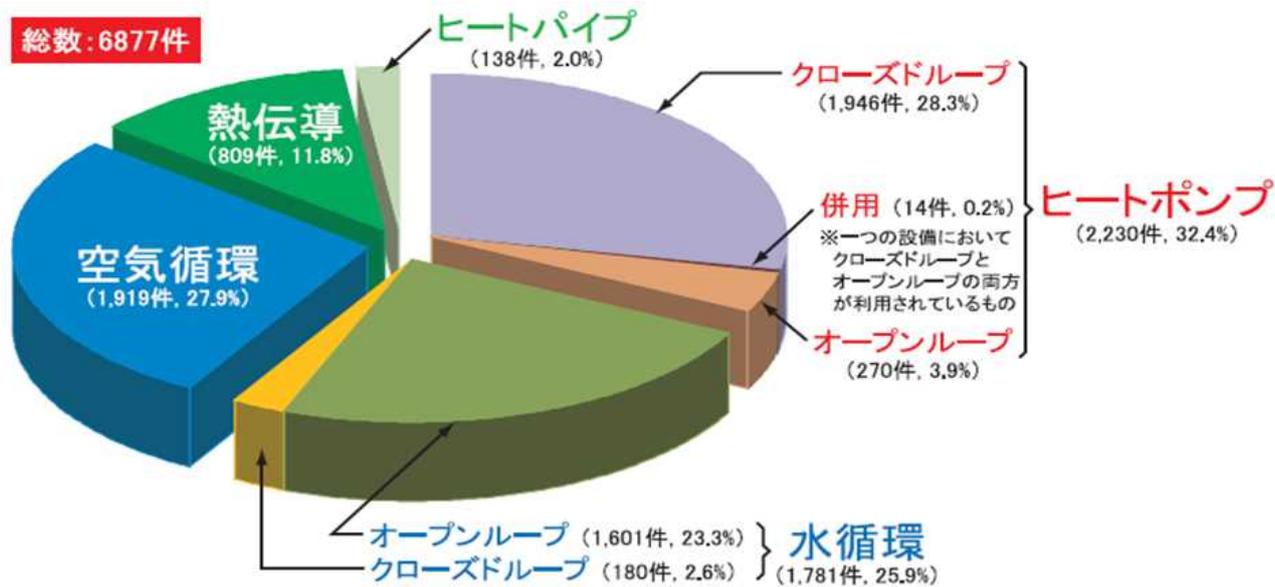
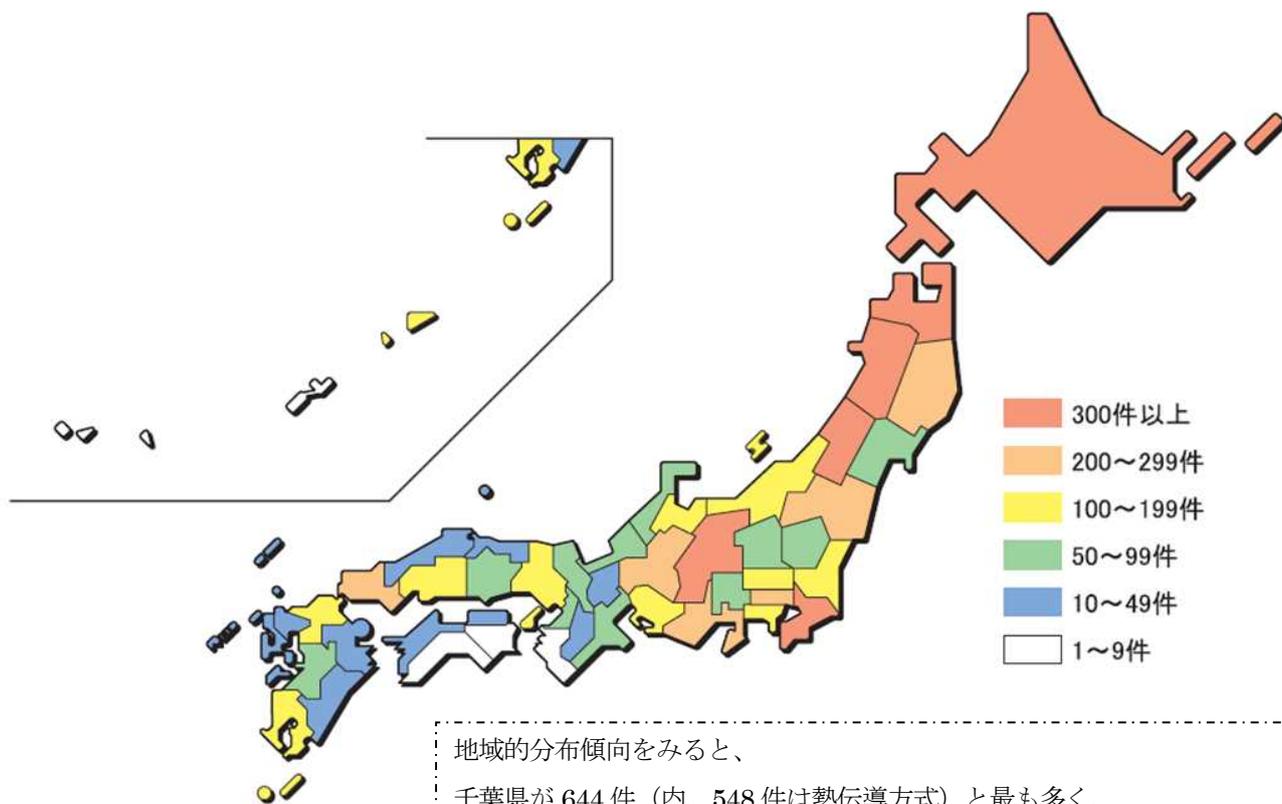


図 1 地中熱利用システムの方式別設置件数 (2015 年度末)



地域的分布傾向をみると、千葉県が 644 件 (内、548 件は熱伝導方式) と最も多く、北海道の 640 件 (内、598 件はヒートポンプ方式)、山形県の 612 件 (内、547 件は融雪用途の水循環方式) と続いている。

図 2 地中熱利用システムの都道府県別分布 (2015 年度末)

(2) 地中熱ヒートポンプシステムの普及状況

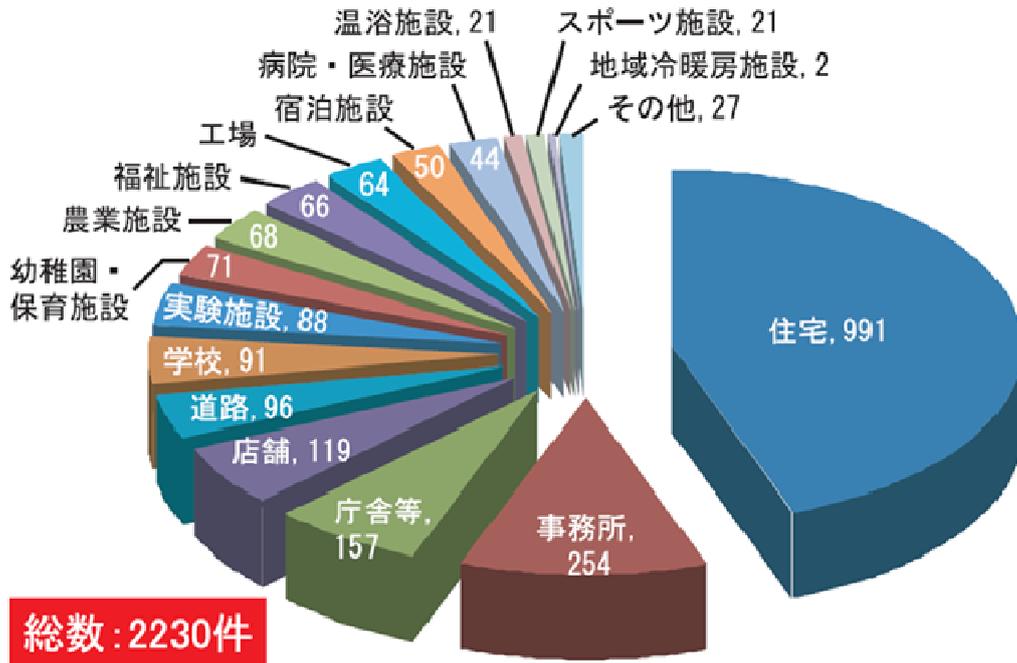


図 3 地中熱ヒートポンプシステムの導入箇所別設置件数 (2015 年度末)



図 4 地中熱ヒートポンプシステムの年間および累計設置件数 (年度による集計)

(3) 各方式の都道府県別設置件数

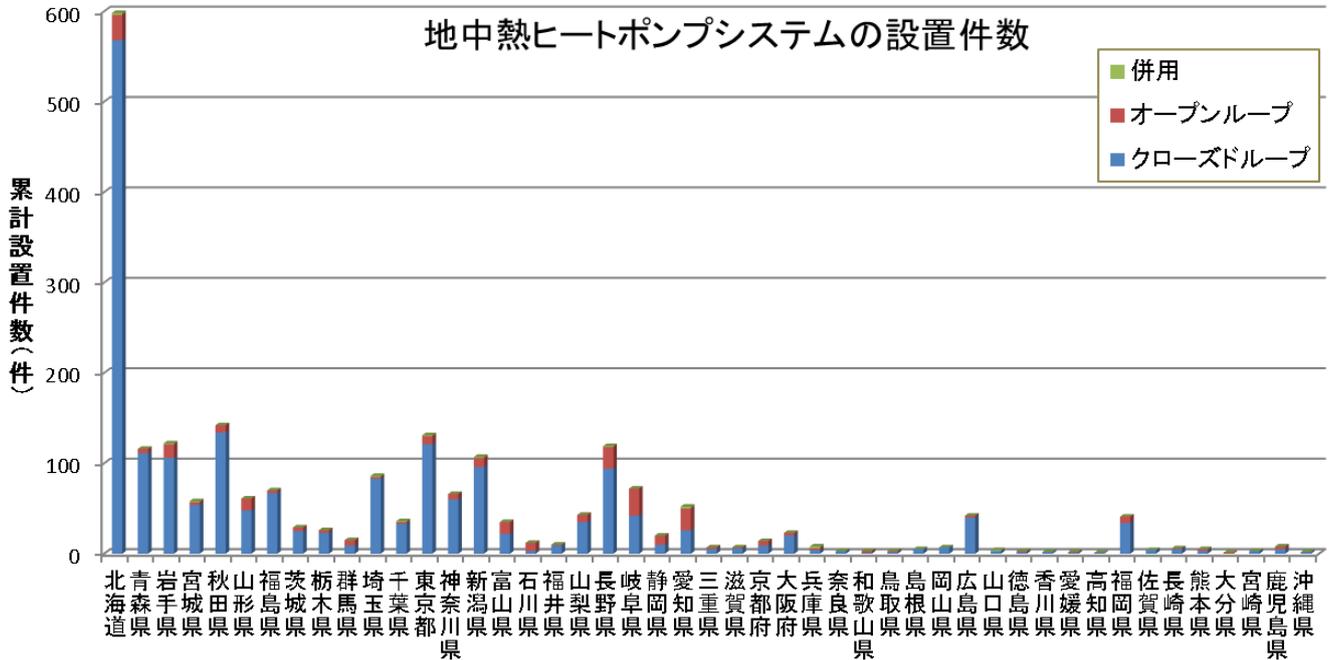


図 5 地中熱ヒートポンプシステムの都道府県別設置件数 (2015 年度末)

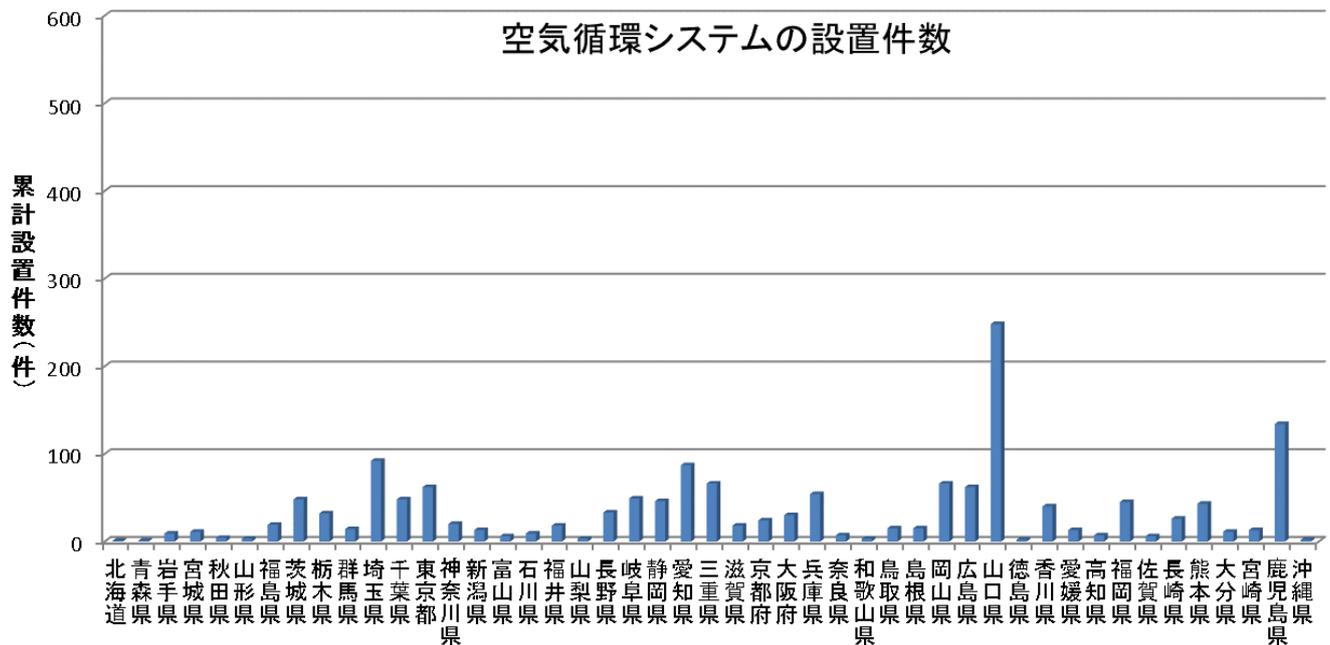


図 6 空気循環システムの都道府県別設置件数 (2015 年度末)

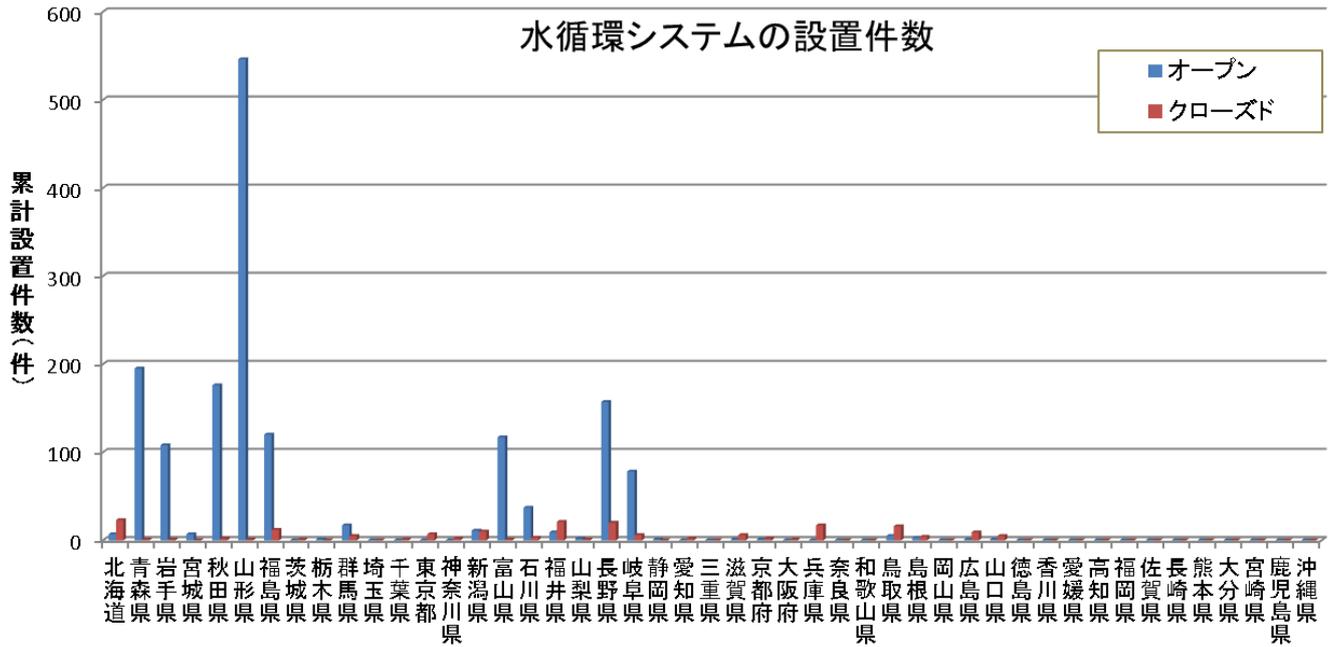


図 7 水循環システムの都道府県別設置件数 (2015 年度末)

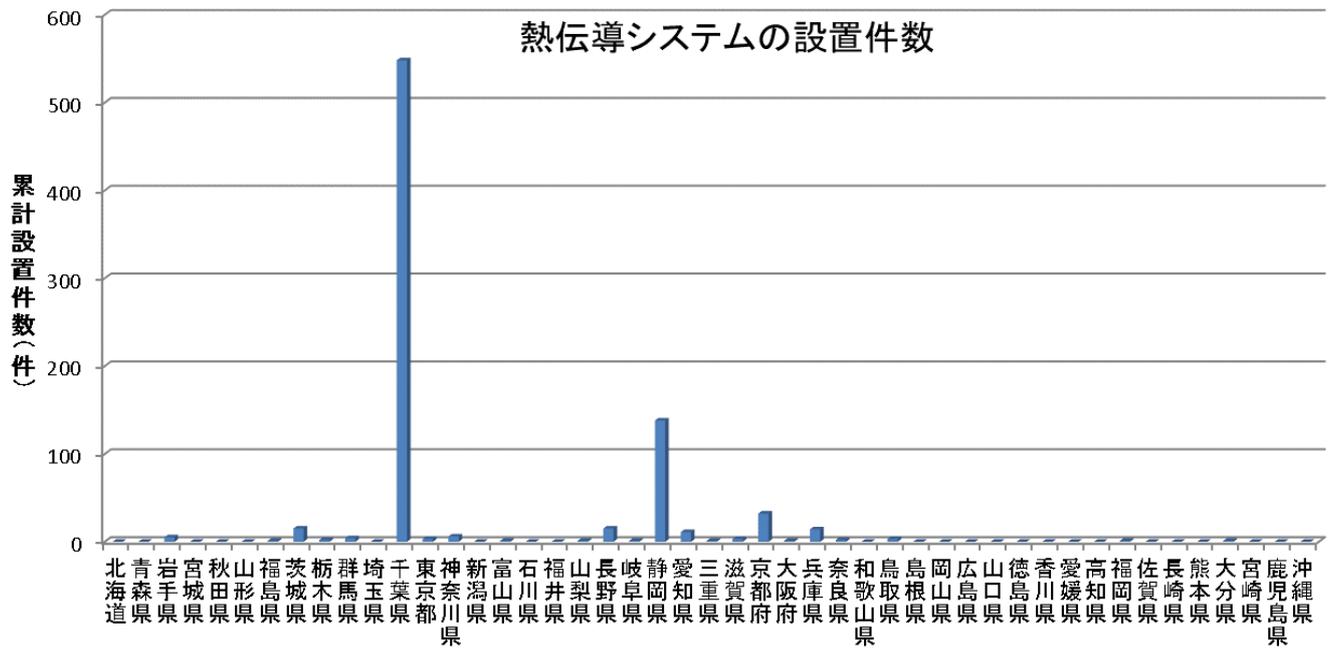


図 8 熱伝導システムの都道府県別設置件数 (2015 年度末)